



第 3 9 6 号

昭和44年6月1日創刊
 平成19年10月8日発行
 発行所及責任者
 川崎市多摩区東生田4-13-17
 電話番号 044-976-0708
 郵便番号 214-0031
 宗教法人出雲心友教会
 編集兼発行人 佐藤武彦
 毎月8日1回発行
 1部150円 (送料共)
 年間購読料1,800円

神の真理

いかに道徳や法律でかたちをとりつくりと怒気や怨念が充満しては、真



神々の宿舎、十九社 (神迎祭)

の平和は得られません。同じ月でも、静かな水面に映る時は、その姿のまま円満

に映りますが、映す水面が波立っていけば歪んでしまいます。人の『氣』も同じ様に、自分が平らかであれば、相手の心をありのままに映すことができますし、相手の心にも波紋を立てません。そして、そうあるための御教えが、『争うなかれ』『誘るなかれ』『愚痴るなかれ』です。

『争い』は魂を荒ませ、『誘り』は魂を汚し、『愚痴』は魂から活力を奪います。誤解のない様に申し上げておきますが、これは単なる人の道としての教えではありません。信仰は道徳とは違います。あくまでもそうしたことが、平らかなるべき心の和をそこない、黒い霊波となつてあらわれて、神様の御加護を受けにくくするという意味において、守らなければならないのです。(ただし、全部を守れる人間は、実際には存在し

ないと断言出来る程、むずかしいのですが……)

さて、私たち人間に、悩みや、苦しみや、諍を招いているものは、お釈迦様の言葉によれば、執着であり煩惱です。煩惱を断ち執着を去れば、悩むことも苦しむこともなくなるわけでしょうが、人間である以上、それは困難です。

しかし、心安らかに生きるために執着を弱める努力をすることは必要です。

ですから、先ほどの『争うなかれ』『誘るなかれ』『愚痴るなかれ』という、三つの教えを、個人の意志として貫いて行こうとする場合には、たいへんな苦痛となります。なぜなら、自分の知性の中だけで判断し、我慢しているということには限界があり、心の安らかさを求めての我慢が、逆に心を波立てるという結果になりがちだからです。

でも、こういう時、信仰があれば、「神様は、この苦しみも、全てお見通しでいて下さる。」自分は理として最善の努力をさせて頂こう、苦を果たさせて頂こう、そ

して全てを神様のおはからいにお任せしよう。」という祈りとして委ねることができるとは、

そして、全てを神様のおはからいにお委ねした時から、心は安らかになり、同時に執着も弱まり、煩惱も少なくなります。更に願望が叶えられたりすれば、いつそう心は平安になります。それが、それは本当に神様に全託した場合であつて、中途半端ではそうなりません。

さて、ここでその全託が真の全託かどうかという問題が残りますが、それは外形になつて見えてくるものです。

人によって願望を早く叶えて頂いている方と、仲々叶えて頂けない方がいらつしやいます。

早く叶えられる方というのは「おかげさま」という気持ちの強い人です。そういう気持ちで、言葉にも、態度にも現れ、願望が叶えられる前に、生かされていることに感謝しています。「おかげさま」という言葉は、むろん感謝の言葉ですが、それがいつでも心の底から

出てくるためには、いささかの疑いもない『全託』がなければダメです。

卵が先か鶏が先か、ではありませんが、「私はまだお徳が頂けなくて……」と言われる方は、いつまでも望みを叶えてもらえませんが、

本当に全託していれば、日々にお徳を発見して、まづ「おかげさま」になるはずですから、望みを叶えて頂けない方は心の底に「不足」があるのでしよう。

『直き心』というのは、必ず良い循環を生みます。「おかげさま」という気持ちの強い方は、神様からも目をかけて頂けますが、同時に、そういう心の霊波が会う人ごとに伝わって、良いご縁に恵まれ、それによつてもお徳を受けるものなのです。

「不足、不足」を言う人には不足の現象が出ます。「おかげさま、おかげさま」を言う人には感謝できる様な現象が起こります。これが神の真理なのです。

皆様も大神様に全託出来る様、努力致しましょう。

**祝 三十五周年祭
記念ビデオ発売中!**

四月八日に京王プラザホテルに於て行われました、



記念パーティー、会長先生傘寿の祝いのビデオ(DVD・VHS)を定価二千円で末広会より販売致しております。

当日お見えの方は、もちろん、お見えになれなかった方も、記念のビデオをお求め下さい。

ご希望の方は店頭又は、送金確認後、郵送します。(DVD・VHSの区別を記入してください)

口座記号番号
00250-8-33954
加入者名
有限会社 末広会

お知らせ

出雲心友教会も、IP電話に加入致しました。電話番号は、050-3386-2284です。尚、IP電話同志は、通話料が、一切かからないそうです。(無料です) IP電話に加入されている方は、電話番号をお知らせ下さい。(登録して下さい) ※今までの044-976-0708でも通話出来ます。

**お悔やみの時の
忌み言葉**

忌み言葉

ひと言に葬儀と言っても神式、仏式、キリスト教式など様々な形式があり、また宗派によっても違った面がたくさんあります。しかし、どんな葬儀の時でも絶対に使つてはいけない言葉、すなわち『忌み言葉』がありますので、覚えておきましょう。

まず、『不幸が重なる意味の言葉』です。例えば、重ね重ね、度々、再び、しみじみ、くれぐれもなどです。そして『生々しい表現の言葉』にも注意しましょう。例えば、死ぬ、生きるなどの言葉は絶対にタブーです。「ご生存中」は「ご生前」に、「生きているころ」は「お元気なころ」に「死亡」は「ご逝去」に言い換えるのがマナーです。

次に『苦しみを連想させる言葉』、九とか四とかにも注意しましょう。そして最後に『死後の不安を思わせる言葉』、例えば、うかばれぬ、迷うなどの言葉は使つてはいけません。また、「〇〇病院ならよかったのに」などと言ったことも絶対に言つてはいけません。更に注意したいのは、「大往生」とか「天寿をまっとうする」といった言

葉は遺族側が使う言葉なので、決して口に出してはいけません。以上が主な忌み言葉ですが、うっかり使つてしまう様な言葉もあると思いますので、充分注意するように心がけましょう。特にこういう時は『うっかり』言つてしまったと言が、ご遺族の方々を傷ついたり、気持ち逆な結果にもなりかねませんので……。

神職勉強会について

今まで、神職講習会として、皆様方に勉強して頂いていた、神職の作法等を、

原点に立ち返つて学習しようという、ご意見があり、復習の意味も込めて、開催する事となりました。主な内容は、修祓(おは

らい)の作法の勉強です。白衣、袴をお持ちの方は当日ご持参下さい。日時 十一月二十五日(日)十時

費用 二、〇〇〇円(昼食付) ※参加ご希望の方は、社務所へお申込下さい。

**大自然の恵みを活かして住もう 省エネ 活性化住宅
太陽で24時間床暖房 ハイブリッド ソーラーハウス**

奥様の冷え性、ご主人のストレスを解消、喘息やアトピー症状を緩和、お年寄りのヒートショックを防止、上下温度差のない大空間(全館床暖房) エネルギー削減など、人、水、土、空気、食品、他全ての物質に作用して、白蟻、ダニ、ゴキブリなどの害虫が来ない素晴らしい環境効果を生みます。下記住所に当社モデルハウスが有りますので、是非見学、体験して下さい。

出雲心友会 横浜支部会員 My Hands 有限会社白幡工務店

〒221-0076 横浜市神奈川区白幡町6-10
TEL045-401-0549 FAX045-401-2085
E-mail:myhands@d3.dion.ne.jp
代表取締役 金子文雄

楽しい出逢いが待っています。

双眼鏡・天体望遠鏡・顕微鏡はビクセン http://www.vixen.co.jp

TELESCOPES・BINOCULARS・MICROSCOPES・MAGNIFIERS・COMPASSES
株式会社 ビクセン 〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢 5-17-3
TEL : (042) 944-4000 (代)
FAX : (042) 944-4045

和服・お手入れ、きものことなら何でもお電話下さい。
都内・横浜・熱海・大宮・幕張・湯河原の
展示会にご案内いたします

装束のぎんわ

練馬区関町北1-15-11
TEL 03-3928-5298
八雲支部 渡邊



江戸前上種
本まぐろ

銀寿司

営業時間 昼 12:00~1:30 火曜休み
夜 5:00~9:00

東京都墨田区京島3-18-19
TEL 03(3611)8322
永代支部 長谷川

下町にお出かけの際は、是非お立ち寄り下さい。

**正一位中子稲荷
いなり茶屋**

~法事会席3,500円より承っております~
水曜日定休
営業時間 午前11時~午後3時
午後6時~午後10時

群馬県北群馬郡伊香保町509-3
天田 信良・典子

TEL.0279-72-4465

水蛭子のお話

古事記、国生みの段に、イザナギ、イザナミ、二柱の神が、天之御柱をめぐりたまうたとき、女神が男神より先に「あな、にやしえ、をとこを」(ああ、いい男よ)と、愛の言葉(ことば)をなされた。そしてマグハヒを給うと、水蛭子という沼や水田に生息している蛭のような手も足も無い不具の子が生まれた。

二柱の神は、この哀れな子を葦船に入れて河に流してしまった、とある。「此子者入葦船而流去」(この

みこは、あしぶねに入れて流しすてつ)。

不具であろうと、わが子である。河に流しすてたとは、現代人の感覚では到底理解できない。神様が、こんな残酷な無情なことをなさる筈はなかるう。では、この話は、ウソか、嘘では

ない。ここに神典として古事記の解釈の難しさがあ

る。それほど律儀に考えなくともよい。イザナギ、イザナミの神様が、そういうことをなされたのではない。古代に、そういう風俗があつて、それが背景となつて、この神話が成立したのである。

なるほど、だが不具の子であるから、すてるという残酷な風俗が出来たということとは、何か理由がある筈である。その理由は何だろうか。

蛭のような子が生まれたのは神の祟りである。だから災厄をのがれるために水に流したのであつた。もしそうしないで、切ない親ごころから手許においたとしたら、大変なことになる。家族のみではない。部落、いや村全体が恐い神の祟りで、どんな目にかわからぬ。そこで涙とともに

に河に流したのであつた。一切の罪けがれ、災厄を水に流して、清らかな心となり、幸福を得る大祓の形代(かたしろ)流しと、その精神は変らな

い。ただ、古代の人々は科学的知識が無かつたから、惨忍な行為を犯す愚を敢てしたのであつた。古代にさかのぼれば遡るほど、人々は神の祟りをおそれた。敬神崇祖という崇高な道義的信仰も、祖先の靈魂(たま)畏怖(おそ)が、そのはじまりであるという。物部氏は、「物の怪(け)を退治する部族であつたというのだから今から思うと滑稽(こっけい)でさえある。「目に物みせてやるゾ」という威喝(いかく)の文句は随分、古い時代から言いならさ

れ、言い継がれたものであろう。さて、イザナギ、イザナミ、二柱の神様夫妻は天つ神の、み教えに従いフトマニ(占い)をしたところ、

女が男をさしおいて出過ぎたことをしたので、そのバチ(罰)で不具の子が生まれたという託宣(たくせん)であつた。夫妻は深く反省して、今度は夫が先に「あな、にやしえ、をとめを」(ああ、よい女よ)と言うと、次に妻が「あな、にやしえ、をとこを」と唱和(ねが)した。かくして夫婦は仲睦(なご)じく暮らす中に良い子が沢山生まれ、家族は愈々にぎわい栄えたということだつた。

国生みの神話にある「女神が言先(ことば)だちしは不良(ふさはず)」は、後世の男尊女卑(おとこをうやまつ)の思想が挿入(さ)されてい

広告募集のお知らせ

心友会だよりでは、皆様からの広告を募集致しております。

費用は、年間契約で三万円(月三千元)からとなっております。

会社、店舗などの宣伝に最適です。

不況の今だからこそ、心友会だよりに掲載してみたいかがでしょうか。

尚、お申し込みは、編集部(佐藤)までお願い申し上げます。

☎ 044-976-0708



ご商談、ご宴会、各種会合にご利用下さい。

生糸庵

〒111-0051 東京都台東区浅草1-11-1
TEL 03-3861-1311

日立チェーンストール
ソーニー製品取扱店

〒111-0051 東京都台東区浅草1-11-1

榊原電機株式会社

〒111-0051 東京都台東区浅草1-11-1
☎03-3387-6351

KANEDA
Co-advance

〒111-0051 東京都台東区浅草1-11-1

カネダ株式会社

本社 東京都台東区浅草1丁目34番9号
〒111 TEL03-3861-1311 (代)

営業所 大阪、名古屋、仙台、福岡
http://www.abura-ya.com/
http://www.abura-ya.com/realshop/realshop.html

人間ドック

癌(がん)の早期発見・早期治療から予防
そして健康生活のアドバイスまで

1日ドック・1泊2日ドック

◆お申し込みは◆

〒111-0051 東京都台東区浅草1-11-1
TEL 03-3861-1311

同友会

ボリューム満点 “おいしいラーメンの店”

ラーメン・ギョーザ・シューマイ・定食各種

らーめんはうす

川崎市多摩区登戸3142 TEL044-911-8351

鳥と卵のご用命は当店へ

宮川食鳥鶏卵株式会社

東京都中央区築地1-4-7
電話 03 (3541) 0164・0177・0370
FAX 03 (3541) 0164

社務所からのお願い

やっと秋らしくなってきました。いりました。

皆様方から毎年頂いておられます年会費及び管理料が未納の方がおりましたら、お参りの際、社務所までお申し出下さい。

また、郵便局への振込もご利用下さいませ。

○年会費 (月間五百円) 年間六千円

○祖霊社祖霊壇の管理料 年間五千円

○出雲祖霊廟の管理料 年間五千円

口座番号は、左記の通り
〇〇二九〇一七―三三八一二

*お手数ですが、通信欄に年会費・管理料の区別を明記して下さい。

大祭の奉賛金と

御初穂料について

いよいよ、秋季例大祭が近づいてまいりました。

大祭の度毎に、信者の皆様方にご協力して頂いておりますものに奉賛金があります。この奉賛金は、大祭を執り行なう為に必要な諸経費を賄う運営資金として

役立たせて頂いておりますので、よろしくご了承下さいませ。(大祭の準備費用とお考え下さい。)

また、大祭の当日(代参の方は前日まで)に御神前にお供えする感謝のしるしとしての御初穂料があります。この御初穂は、日頃から大神様に御守護して頂いている感謝の気持ちを形に表わす意味のものです。(直接、御神前にお供えします。)

古い会員の方々には今更改めて申し上げる迄もない事で、誠に失礼とは存じましたが、新しい会員の方々より質問がありましたので、この際(当初ご奉賛を

お願いしてより三十年以上経過しております、新しい信者さん方には、その目的とか意義の違いがわかりにくいのではないかとおぼろしいので)その趣旨の違いを改めてご説明させて頂きました様な次第でございます。

何卒右、ご理解の上、ご協賛賜ります様、今後共よろしくお願い致します。

八の日の月並祭にお詣り致しますよう

月並祭は、大神様の日頃の御加護に感謝する御祭です。自分の損得を抜きにして本当に感謝のお詣りをさせて頂く良い機会です。

『家で自分の大国様にお祈りしているからいいです』とか言い訳しないで、出来るだけ本殿にお詣り下さい。

八の日は月に三回あります。せめて一日ぐらいは、自分自身で日を決めてお詣り下さいませ。

特に総代の方、支部長の方、初心に返って、あの頃の生き生きとした、燃える様な気持を思い出して、お詣り下さい。

また、その後、勉強会をさせて頂き、大神様についてのお話を会長先生がして下さいませ。その他、皆様方の体験談や質問などごやかな雰囲気の中で、ディスカッション形式で座談会をしておりますので、是非ご参加下さい。

皆様の真心のお詣りを、大神様は大手を広げてお待ち下さっていますので…。

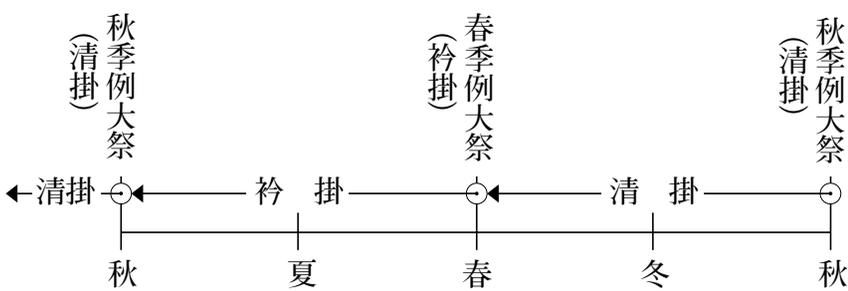
清掛と衿掛について

清掛と衿掛の着用の時期について、まだはつきりおわかりにならない方がいらっしゃると思いますので、確認させて頂きます。

詳細は、左記の通りです。

☆秋季例大祭当日より翌年の春季例大祭の前日まで清掛の着用(冬季)

☆春季例大祭当日より同年の秋季例大祭の前日まで衿掛の着用(夏季)



心友会ホームページのお知らせ

メールをお持ちの方は、アドレスの登録を行いたいと思いますので、下記の心友会のメールアドレスに件名「登録」にて住所・氏名・電話番号を送信お願い申し上げます。

心友会のURLは <http://www.shinyukai.or.jp>

izumo@shinyukai.or.jp です。

また、ホームページ等へのご意見ご感想もお送り下さい。

心友会コーナー

●心友会だより布教キャンペーン
心友会だよりを年間千八百円(二部につき)でおわけします。親戚の方や、知人の方にお渡しください。

こちらから直接郵送も可能です。(郵送先をお知らせ下さい。)

●会長先生のご著書「日本心友会先生のご著書、「日本の心 神道入門」(再版)、「霊のめぐみ 霊のさわり」神霊の奇跡、「神のこころ・霊のめぐみ」全て、末広会にて販売しております。在庫に限りがございますので、お早めにお求め下さい。

●不明な点等ございましたら
〇四四(九七六)〇七〇八 佐藤まで

末広会コーナー

●各種贈答品承ります。

●謝恩特価にて全国宅配無料
産地直送品を始め約八〇〇点。その他、各種贈答品承ります。多少に拘らずお気軽にご用命下さい。(個でも注文OK)

●冠婚葬祭用カタログございます。

●自由選べるカタログカテゴリー。予算別には、贈答品文庫カタログ。是非ご利用下さいませ。

●詳しくはお電話にて。

●損保ジャパン代理店

●自動車保険、火災保険、積立保険など、お客様のニーズに合った各種保険がございます。

●お気軽にお問い合わせ下さい。

●新製品続々登場
※詳しくは、お店にて。

●他にも多数商品がございます
お問い合わせ、資料請求は、
〇四四(九七六)二八八二まで

発想をアクティブに、
伝える情報を伝える情報に、
マルチカルチュラル時代の
コミュニケーションサービスを
展開しています。

スレシース
〒108-0072 東京都港区白金 1-25-20
Tel: 03-3444-7111 (代) Fax: 03-3442-5775
E-mail: mail@sureshis.co.jp
Homepage: <http://www.sureshis.com>

神拝詞に「ひと」

神拝詞の中段に「親族家族等賦与け給へる魂は穢さじ。」という言葉が出てきます。

この言葉は「ひと」のあべき姿を適切に言い表わした言葉だと思えます。

またそうありたいと、自分自身が御神前で誓う言葉だと思えます。

古代の日本人はいつの頃からか、「ひと」という言葉を使い出しますが、この言葉程含蓄の深い言葉はな

いと思われま。

元来、日本には文字がなく中国から漢字が入ってくるようになると、漢字で日本語を表記するようになり

ましたが、中国人が人間の意味として「人」という文字を使っているのです、この漢字を「ひと」と読むようになり

ました。

古い書物をみますと、「ひと」を「人」一文字で表記している場合と、わざ

わざ「霊止」と表記している場合があります。

これは日本人が人間とは

どういものか、よくよく考えて「ひと」という言葉

を思いつき、その意味をくんでわざわざ「霊止」と書いて

御神名でも、高皇産霊神や神皇産霊神などは「霊」を「ひ」と読ませており

す。

このように神霊や靈魂、目に見えない神秘的な力を

古代の日本人は「ひ」と言っていたのですが、人間とはまさに「からだ」という容器に「たましい」すなわち「ひ」がとどまったもの

という考え方をしております。

この靈魂は、神界や霊界を司つていらつしやる大國主大神から頂くものですが

その「たましい」を穢さないようにしたいという自覚をもち、それを大神様と自分自身に誓う言葉こそが、

「親族家族等賦与け給へる魂は穢さじ。」であります。

私たちはともすれば、分っていないが、またそうと分らずに人がいやだと思ふことを言ったり、したりしている

そういうことは、大神様

から見ると罪となり、その結果として魂をよごしてしま

大國主大神のご意志は、私たちがこの世の中で、仲よく睦まじく、楽しく幸せに繁栄していつてほしいと

人と争ったり、人を誹つたりすることは、また自分自身のことを愚痴つたりす

ることも結果的には人を不愉快にして、右に述べた大國主大神のご意志に反すること

こういう大神様の御心に

かなわないこと、御心に反することが、「罪」でありその結果として、からだに

あかがつくように、魂が、けがれるのです。

こうして、大國主大神の信仰につながり、日々手をあわせている私たちは、神

拝詞の言葉のとおり、自分自身に言いかけ、大神様にお誓い申し上げ、誰にも恥じることのない生活ができるよう、精進して行かなければなりません。

こんな時どうする？

皆様は、日常「こういう時は、どうすればいいのだろう？」と思う場面がしばしばある事と思えます。

そんな時どうしたら良いか、いくつかのケースについてお答えします。

まず、『祝儀袋にお金を

入れ忘れてしまったら』どうしたら良いでしょう。

披露宴から帰って、あるいは神殿などにおまいりから帰って、祝儀袋にお金を入れ忘れた事に気づいたら

なるべく早く先方に届けるようにします。その場合も改めて祝儀袋に入れて直接渡すか、現金書留で送りま

す。もちろんお詫びの言葉も忘れずに伝えること。

また入れたかどうかはつきりしない場合も先方からはなかなか言いにくいのでこちらから確認する様に

します。葬儀なども同様に考えて下さい。

次に『中元や歳暮をもらったお返しは必要か』とい

う問題ですが、中元や歳暮というものは、もともとお世話になった人に対して感謝

の気持ちを表すために贈るものです。ですから、中元や歳暮をもらったからといって、お祝をもらった時の

様にお返しをする必要はありません。ただし、結構な品をいただいたとの感謝の

意味を込めてお礼状だけを出しましょう。

最後に『葬儀後に訃報を知った時はどうする』という事ですが、この場合は、死去を知らなかった事をお詫びした上で、お悔やみの手紙を出す様にすると良い

でしょう。もちろん、ご遺族の方を励ます様な言葉を

添える事も大切です。

また取引先の方が死去した場合、生前の業績をたえ、惜しい人を失った事を述べた後、今後残された役員、社員が遺志を引き継ぎご奮闘される事を祈ると

いう励ましの言葉で結ぶようにします。

お行明けの

間に合わせて頂く

信者の皆様（特に地方の方々）からお送り頂いてお

ります、御祈願・御供養等のお行明けにつきましては郵送後十日以内の午前八時

三十分から午前九時までと午後五時三十分から午後六

時まで電話にてお行が通っているかどうかを確認して下さい。

尚、おろう（ローソク）の御伺いにつきましては、

御霊示（御注意）が出ますので、なるべく早くお電話下さい。（例えば、一週間以内に

煩わしい事がありますとか御霊示がありますので）

お願い

この心友会だよりは、皆様方の会報として発行させて頂いておりますが、移転などによって戻ってきてし

まうものもありますので、移転などによって住所が変わった方は、お早めに社務所までご連絡下さいませ

お願いいたします。

十月〜十二月の行事予定

十月

四日(木) みたまま祭

五日(金) みたまま祭

七日(日) 年祭

十四日(日) 総代会

二十一日(日) 秋季例大祭

閉扉祭

十一月

四日(日) みたまま祭

五日(月) みたまま祭

十一日(日) 年祭

十三日(火) 七五三詣

十九日(月) 神迎祭

二十日(火) 神迎祭

二十五日(日) 総代会

十二月

四日(火) みたまま祭

五日(水) みたまま祭

九日(日) 年祭

九日(日) 総代会

十八日(火) 合同慰霊祭

餅つき

二十三日(日) 大祓祭

三十日(日) おたきあげ

三十一日(月) 除夜祭

カサ川詣りについて

七五三詣りは、十一月十三日(火)の予定ですが、三日(土)・八日(木)にもお受け致します。御参列希望の方々は電話にてお申込み下さい。

十月二十一日(日) 秋季例大祭 正午

春と秋の年二回行われる最も大きな御祭です。正面の御扉が開き、大神様からの波長を直接お受けになれますので、万障お練り合わせの上、是非おまいり下さい。尚、御祭終了後には、各支部の有志によります模擬

十月二十一日(日) 閉扉祭 午後二時

例大祭で開扉した御扉を感謝の念を込めてお閉めする御祭です。この閉扉祭をもって秋季例大祭が無事終了ということになります。是非ご参列下さいませ。

十一月四日(日)・五日(月) 十二月四日(火)・五日(水) みたまま祭(祖霊社)

十月・十一月・一時半・二時半・三時半にお仕えさせて頂きます。各月(その月)に命日を迎えられる方々の御供養をさせて頂きますので、日程

店が出ます。

また、バザーも行ないますので、ご自宅に眠っているもので、皆様に喜んで頂ける物がございましたら、直接お持ち下さるか、出雲心友教会までお送り下さいませ。(お手数ですが、必ずバザー用品と明記の上、十月八日必着でお願い申し上げます。)

みたまま祭だより

九月

篠原家 本橋家 鈴木家 染野家 谷口家 天野家 長谷川家 大久保家 加藤家 熊野家 藤井家

以上の家々の御供養を、御奉仕申し上げます。をご確認の上、お早めにお申し込み下さい。また、お申し込みの方が多数いらっしゃいますので別の月の方や三柱(三人)以上の御供養を希望される方は、日程を別におとり致しますので、社務所までお申し込み下さいませ。

十一月十一日(日)・十二日(日) 年祭(感謝祭) 正午

その月に祀られた方々が、それまでの一年間、大神様に御加護して頂いた事に対して感謝申し上げる御祭です。月並祭と同様、この年祭も自分の御利益ではなく、純粋に感謝の気持ちをお神様に御奉告申し上げる機会でもあります。

玉串拝礼について

今年の春季例大祭より、

原点到立ち返り、一人一人

十一月十九日(月)・二十日(火) 神迎祭

旧暦の十月十日(今年は十一月十九日)の夜、出雲の稲佐の浜に於て、厳粛に執り行われる御祭です。参拝ご希望の方はお早めに社務所までお申し込み下さいませ。

尚、代参(お一人様三千円以上)も受け付けておりますので、参拝出来ない方は、是非お申し込み下さいませ。

ハガキでご案内させて頂きますので、必ず出欠のお電話を下さいませ。

また、祀られた月に都合がつかず、今月出席を希望される方も同様に直会(昼食)の都合がございましたら、人数をご連絡下さいませ。直会までが御祭です。尚、御神体(大国様)と清掛をお忘れなくお持ち下さい。

御伺いの予約について

☆3の日(3日・13日・23日) 9:30~11:30(午前の部) 13:00~15:30(午後の部) ☆8の日(8日・18日・28日) 9:30~11:30(午前の部のみ) 午後1時より月並祭(時間厳守)

※ご予約は、当日の午前10時までに電話下さい。お電話がありませんと、お待ち頂く場合がございます。 044-976-0708

読書会について

毎月八日、年後一時の月並祭に引き続き、会長先生のご著書『神のこころ 霊のめぐみ』を教材に読書会を開催する事となりましたので、是非ご参加下さいませ。

編集後記

☆ようやく、秋らしくなってきました。 ☆いよいよ今月は、秋季例大祭です。

名様ずつ(基本的に)拝礼して頂きますので、左右の方とお気持ちを合わせて、御拝礼お願い致します。

せ。(本は持参の事) 十一月八日(木)が第一回となります。尚、『神のこころ 霊のめぐみ』を特価千円で、末広会にて販売中です。この機会に是非お求め下さいませ。

☆バザーもありますので、ご協力お願いします。 ☆最近、原稿の数も減ってきておりますので、どんな投稿でもお送り下さいます様、お願いします。